



『平成二十四年度臨時総会』開催

(広島県商工会連合会)

繁栄・創出・信頼をキーワードに、
会員満足度の向上と商工会の機能強化を目指す

広島県商工会連合会は、「平成二十四年度臨時総会」を三月二十六日、中区基町のメルパルク広島で開催しました。合計三十三人の商工会

長が出席し、平成二十五年度の事業計画書(案)、収支予算書(案)などを審議しました。

開会挨拶で植田賢治会長は、商

工業者数カウント方法の見直し、事務局長設置要件の緩和の二つが、ほぼ要望どおり実施される運びとなったことを報告。次いで、この日の提案議題について触れ、総務委員会での議論を経て、「繁栄」創出「信頼」を新たなキーワードに掲げ、会員満足度の向上と商工会の機能強化の二つを柱に事業計画の組み立てを行った」と説明。慎重審議を出席者に求めました。

臨時総会では安芸高田市商工会の熊高一雄会長を議長に選任して議事を進行し、上程した第一号

議案から第七号議案のすべてが原案どおりに承認されました。

提出議案は次のとおり。

第一号議案―平成二十四年度収支補正予算書(案) 承認の件

第二号議案―平成二十五年度事業計画書(案) 及び収支予算書(案) 承認の件

第三号議案―平成二十五年度県連合会会費賦課基準(案) 及び徴収方法(案) 承認の件

第四号議案―平成二十五年度電子計算機処理手数料賦課基準(案) 及び徴収方法(案) 承認の件

第五号議案―平成二十五年度借入金最高限度額(案) 及び借入先承認の件

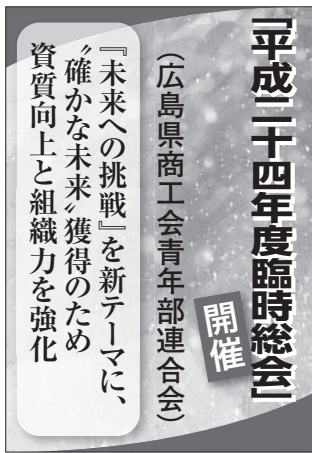
第六号議案―広島県商工会等職員の給料表、初任給、昇格、昇給等に関する統一規約の一部改正(案) 承認の件

第七号議案―再雇用制度の一部改正に伴う諸規程の改正(案) 承認の件

第一号議案が承認された後、事務局は第二号議案の補足説明で、昨年八月の『中小企業経営力強化支援法』施行に伴い、中小企業の経営力強化を図るために「経営革新等支援機関」の認定制度が創設されたことを報告。「(専門的知識や実務経験が一定レベル以上の)金融機関、税理士などが支援機関として認定されている」と中小企業支援を巡る厳し

い現状に警鐘を鳴らし、「国としては最終的に認定件数一万件を目指している」と説明。独占から競争への流れの中、「支援機関同士の競争に打ち勝たなければ生き残りは厳しい」と述べ、これまで以上の巡回訪問によって会員ニーズの掘り起こしと経営課題への適切な対応を図るなど、「最も身近な支援機関としての商工会」を目指す方針を表明しました。

第三号議案から第五号議案は、関連があることから熊高議長が第二号議案とともに一括上程し、四案とも異議なく承認されました。第六号議案は平成十八年度からの「給与構造改革」に伴い、国に準じて実施してきた経過措置の段階的廃止を求めたもの。第七号議案は来年度から「高齢者雇用安定法」が一部改正されることを踏まえ、職員服務規程など関連諸規程の改正を行うことを求めたもので、いずれも拍手多数で可決されました。



広島県商工会青年部連合会の「平成二十四年度臨時総会」が八日、福

山市三之丸町の福山ニューキャッスルホテルで開かれました。出席者二十七人、委任状七人、合計三十四人の出席のもと、平成二十五年度の事業計画書(案)、収支予算書(案)などが審議されました。

臨時総会に先がけて「青年部研修会」が開かれ、小川治孝県青連会長を座長に、「青年部のみなさまへお伝えしたいこと」商工会青年部の役員を経験して」と題したパネルディスカッションが行われました。

この研修会は、小川会長と県青連の組織運営を支えてきた副会長、ブロック長ら六人が、二年の任期中に得た知識や経験、気づきなどを次の県青連を担う青年部員たちに伝え、譲り渡していくことを目的に行われたもの。小川会長からの問いかけに一人ひとりが答える形で行われ、六人が熱い胸の内を披露しました。

パネラー役の六人が一様に口を揃えて言ったのが、「感謝」の言葉。「今後につながる貴重な経験ができた」「多くの人との関わりの中で自分を成長させることができた」「さまざまな知識を持つ同志との交流を通じて視野を広げることができた」など、在任期間を通じて重要な責務を担う一方で、県青連の要職に見合うだけの達成感や充実感、満足感が得られたことを六人は強調。組織運営に携わることですることができた成果、一青年部員のままでは気

づかなかったであろう発見が得られたことなどに対し、有難く思う気持ちを六人は感謝という言葉で表現しました。

さらに、組織を運営していくことは自分一人ではできないことで、心をつなげて事業を推進していくなど、「連携」と「協調」の大切さを伝える意見も。そのほか、「副会長になったことで親会の動きが気になり出した結果、さまざまな中小企業施策があることを知った」と述べて、青年部活動だけに終始するのではなく、商工会とのつながりを深めて、経営指導員の知識とスキルの積極活用をすすめる声なども聞かれました。

事業活動なくして青年部活動は成り立たないことから、各種中小企業施策の実施機関である商工会を活用するようにも求めて、「青年部員の特権を生かして、事業基盤をいっそう確かなものに」と訴えました。最後に「我々の任期もあとわずか」と前置きし、次の世代の青年部員たちに「頑張つて」と心からのエール。「みなさんに何かあれば必ず力になる」と頼もしい言葉を残してマイクを置きました。

研修会後に開かれた「平成二十四年度臨時総会」では、福山あしな商工会青年部の宮崎哲也部長を議長に選出し、三議案の審議を行いました。第一号議案は審議の結果、原案どお



小川会長を座長にパネルディスカッション

り可決。続いて宮崎部長は第二号議案と第三号議案を関連議案として一括上程。議案承認を諮ったところ、異議なく承認されました。提出議案は次のとおり。

第一号議案―平成二十四年度収支補正予算書(案) 承認の件

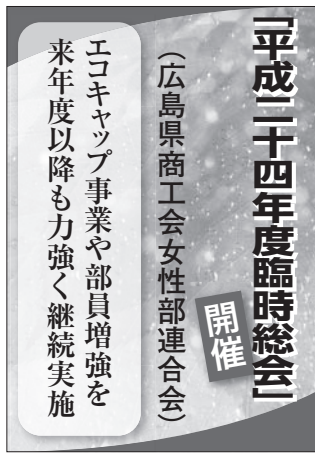
第二号議案―平成二十五年度事業計画書(案) 及び収支予算書(案) 承認の件

第三号議案―平成二十五年度会費賦課基準(案) 及び徴収方法(案) 承認の件

第二号議案の平成二十五年度事業計画書案で執行部は、『未来への挑戦』を新年度のテーマとして掲げました。青年部員をロールプレイングゲームの主人公になぞらえて、装備を整え、仲間を増やしながら幾多の

戦闘を経て経験値を上げ、やがて「不確かな未来」という強敵を打ち倒して「確かな未来」を手に入れた後、愛する町に平和が訪れる、といったストーリーを作成。「新年度はそんな物語の礎を部員のみなさまと作り上げたい」との文言を計画書案に盛り込み、「資質向上を目指し知識という装備を整えるためさまざまな研修会を、切磋琢磨する多くの仲間を見つめるために部員増強を、さまざまな意見を交換し新たなヒントを得るための研究会制度を、引き続き推進していく」方針を表明しました。

その基本方針と合わせて、再来年度開かれる「平成二十六年中国・四国ブロック商工会青年部交流会広島大会」を成功させるため、来年度をその準備期間と位置づけて各種事業を展開することを宣言しました。



広島県商工会女性部連合会の「平成二十四年度臨時総会」が三月二十七日、南区元宇品町のグランドプリンスホテル広島で開かれ、出席者三十二人、委任状二人、

合計三十四人の出席のもと、平成二十五年度の事業計画書案、収支予算書（案）などが審議されました。

開会挨拶で井上文江会長は、昨年九月に開かれた「平成二十四年度中国・四国ブロック商工会女性部交流会」で、中四国各県から集まった約一〇〇〇人の商工会女性部員をホスピタリティあふれるもてなしで満足させ、大会を盛況裡に終わらせたことを報告し、「みなさまのご協力のおかげ」と感謝の弁。「来年度もこれまで同様、地域と商工業者をつなぐ事業を展開していきたい」と次年度に向けた決意を表しました。

臨時総会では、大野町商工会女性部の橋口千恵子部長を議長に選任し、議事を進行了しました。今総会に上程された議案は、平成二十四年度収支補正予算書（案）など三つ。第一号議案は原案どおり可決され、第二号議案と第三号議案は関連があるため橋口議長は二案まとめて上程。執行部が一括して説明を行い議場に諮ったところ、いずれも異議なく承認されました。

提出議案は次のとおり。

第一号議案―平成二十四年度収支補正予算書（案）承認の件

第二号議案―平成二十五年度事業計画書（案）及び収支予算書（案）承認の件

第三号議案―平成二十五年度会費賦課基準（案）及び徴収方法（案）承認の件

認の件

執行部は第二号議案の平成二十五年度事業計画書の冒頭で、中四国ブロック交流会を振り返り、「参加者に対して十分なおもてなし活動を行い、みなさまに満足いただけた」と回想。来年度事業の基本方針では、エコキャップ事業を引き続き行うとし、「全女性部員の帰属意識の向上や、地域の消費者と商工会員の事業を結び付ける契機として取り組む」と表明。原爆の子の像に千羽鶴を捧げる事業についても継続実施する意向を伝え、部員増強運動や女性の創業等支援助成金事業などにも意欲的に取り組む考えを示しました。

執行部は方針説明の最後に、十月に愛媛県で開催される「第十五回商工会女性部全国大会」などの県域や業種の枠を超えた交流に積極参加することで、「女性としてのネットワークづくりや情報交換を深め、地域振興発展のよき理解者として、地域活性化に貢献していく」決意を強調。基本方針に従って、来年度も引き続き各種事業を力強く推進していくことを宣言しました。

審議終了後、事務局が「平成二十五年度ひろしま夢ぷらざイベント出展」について報告。ひろしま夢ぷらざが開設十五周年を迎える今年、県女性連主催の地域特産品販売促進イベントを同店で開くというので、五月二十三日から六月四日まで

大好評 商工会の共済制度 かがやき

選べる 4タイプ 充実の 24時間保障 些細なケガも保障

共済掛金 月々 **2,000円**

万一の時は迅速な支払い！ 共済だから安心！

■共済引受組合 共済だから安心

広島県共済

広島県火災共済協同組合
広島県中小企業共済協同組合
〒730-0048 広島市中区竹屋町4-17
http://www.kyosai.or.jp

広島県共済組合員相談室 ☎0120-708030

ジブラルタ・ロックは、安定性と信頼の象徴

Gibraltar
ジブラルタ生命

何百年もの間、荒波にもまれながらも形を変えない岩
ジブラルタ・ロック
それが、わたしたちのシンボルです

企業の経営者様と従業員を守る、商工貯蓄共済付加保障制度
＜担当：広島エリア・福山エリア＞

コールセンター 0120-37-2269（ミナジブロック）
HPアドレス <http://www.gib-life.co.jp/>

での間、「広島県各町特産品じまん大会（仮称）」と銘打って開催する計画が公表されました。

臨時総会後に開かれた「平成二十四年度第三回商工会女性部研修会」では、有限会社エコカレッジ（島根県川本町）の尾野寛明代表が「過疎と戦うネット古書店とネットワーキングによる地域づくり」をテーマに講演しました。



広島県商工会女性部連合会臨時総会風景

**「平成二十四年度
広域講習会」開催**

ポイントカードの
現状とこれからについて考え
販売人としての原点を
再確認する

広島県商工会連合会

広島県商工会連合会は、小規模事業者の商業振興や地域購買力の向上

などを目的に実施している、商工会広域カード事業。ぼっぼカードの事業強化の方策などについて検討する「ぼっぼカード加盟店広島県大会」を二月五日、南区の場町のホテルセンチュリー21広島で開催しました。今大会は二部構成で行い、第一部の講演会では地域商業研究所の金尾俊郎代表が、「ポイントカードで地域を救え！」をテーマに講演。第二部の講演会では落語家の三遊亭重郎さんが、「落語で学ぶ商売繁盛」を演題にミュージカル落語を披露しました。

金尾代表は講演冒頭、平成四年頃の規制緩和に伴う価格破壊により、「スタンプカードの役割が変わった」と説明。金尾代表はそれ以前を第一世代と位置付け、第一世代期はスタンプやシールを中心としたポイント制で、日々の最寄品業種を中心にポイントをおまけとして付与し、顧客の固定化を図るツールと解説。それ以降の第二世代では、現金値引きに代わる効果を持ったツールとしてポイント制が活用されることになり、対象業種もあらゆる業界へと拡大。第二世代期に入るとスタンプやカードの役割は、「おまけから値引き対策に移行した」と強調しました。

さらに第三世代になると、買い物袋持参や再生資源店頭回収などのリサイクル活動、まちづくり活動、ボランティア活動の対価としてポイント

を付与する仕組みが登場。ポイント制というシステムが環境問題や地域活動にも応用できることが分かり、「地域商業の販促活動がさらに汎用性を広げた」と金尾代表。定着しにくかった地域通貨の代わりに、スタンプやカードにより新たな地域内循環型経済を目指すべきとの考え方を示し、カード提示に対して子育て支援サービスを提供するなどの新たな用途を提案することで利用動機の拡大が図れることを説明。ぼっぼカード会統一事業として実施している小中学校の教育助成金制度もその一例で、高齢者の医療費軽減対策、特定診断対策などさまざまな用途に利用が可能という新たな視点を提示しました。

続く講演会では、モノが売れない時代だからこそ販売人としての原点を見つめ直してもらおうと、劇団四季出身という異色の経歴を持つ亜郎さんが、持ち前の美声を生かしたコミカルなミュージカル落語を熱演しました。

一本目は、どんな状況や運命に対しても「ありがとう」を唱え続けることで、閉鎖的な商店街の沈滞ムードを払拭していく男の物語『ありがとうが世界を変える絆39』。二本目は、恵まれた家庭に育ったものの、一家離散の末に蕎麦屋の下働きとなった主人公の成長の過程を描いたストーリー『ダメ坊ちゃんが松下幸

FUJITSU

株式会社 富士通マーケティング



TOKIO MARINE
NICHIDO

安心・安全をひろげたい。
マングローブ植林は、
地球の未来にかけた保険です。



東京海上日動火災保険株式会社 東京都千代田区丸の内1-2-1 〒100-8050
TEL:03-3212-6211(代表) <http://www.tokiomarine-nichido.co.jp/>



二演目を熱演した三遊亭亜郎さん

切さを 亜郎さ んは説 きまし た。「考 え方が 変われ ば行動 が変わ り、行 動が変 われば

之助に出会ったら」。

「ありがとう」の言葉が商店街の人々の心のわだかまりを溶かし、徐々に商店街に活気が戻ってくる物語の中に亜郎さんは、「地域の人々がともに助け合い、成長し合い、心を寄り添い合い、絆を深めて欲しい」の思いを込めていました。人と人とは合わせ鏡で、まず自分自身が襟を正してお客に好かれる人間にならないといけないと述べ、商売人の基本である「いらっしやいませ」の挨拶も、「相手を変えるくらい勢いで」と亜郎さんはアドバイス。心から人に感謝する気持ち、相手を大切に思う気持ちを今一度思い出してほしいなどと訴えました。

さらに、苦労の中にも誇りと生き甲斐を見出し、主人公が下働きとして懸命に励む姿を通して、自分と与えられた境遇をありのまま受け入れ、明るく逞しく生き抜くことの大切さを

新洋菓子ブランド順調に推移

今年に入り第二弾商品を開発し、
限定の第三弾商品も予約分で完売

福山市
神辺町

昨秋、新洋菓子ブランドを立ち上げて話題を集めた創業一四八年の老舗和菓子店が、新規事業の展開を加速させています。

新洋菓子ブランドを立ち上げ評判となったのは、福山市神辺町の「茶山饅頭総本舗谷口屋」。昭和三十年の「第十四回全国菓子観光大博覧会」で『名譽金賞牌』

を受賞した茶山饅頭などで知られる老舗です。「和菓子屋さんの作る一味違った洋菓子」をコンセプトに和菓子の素材と技法を取り入れた新しくどこか懐かしい洋菓子を提供し、顧客層の拡大を図ろうと、昨年十月から新規事業に乗り出しました。

第一弾商品として売り出したのが「神辺本陣純生ロール（一個八五〇円）」。広島県重要文化財の神辺本陣の瓦をイメージした地域色豊かな洋

人格が変わり、人格が変われば運命が変わる」などと述べ、知恵や悩みを出し合って今の商売を取り巻く状況を共に乗り越えてほしい、と聴衆一同の心と体に明日の英気を注入しました。

菓子です。開発したのは、老舗の運営を担う製造責任者の下宮洋一さん。創業から数えて七代目に当たる人物です。三年前の製造責任者就任以降、「メインの高齢層だけでなく、幅広い客層に対応したい」と和菓子に洋のテイストを取り入れた創作菓子を次々開発。客層拡大を強化し、客数増加を図るための取り組みに意欲的に挑戦してきました。



新洋菓子ブランドを立ち上げた下宮洋一さん（右）

本県連東部支所が一昨秋実施した「平成二十三年度広域講習会」への参加がきっかけ。株式会社ゴールドボンドの太平孝代表による「販路開拓塾」と題したセミナーで、セミナー受講後、個別課題のフォローアップを目的とした同社スタッフの派遣支援を受けながら、新洋菓子ブランド構想を具体化させました。

カステラづくりの技法を取り入れたことで、スポンジのフワフワ感に加え、モチモチとした独特の食感を演出。三種類のクリームのブレンドに最も時間を費やし、約十五種類のクリームを集めてさまざまな組み合

あなたのチカラに、
なりたい。

であい、ふれあい。

信用組合

・コミュニティバンク・

広島市信用組合
☎(082)248-1171

広島県信用組合
☎(082)249-1111

信用組合 広島商銀
☎(082)244-1152

呉市職員信用組合
☎(082)253-4066

両備信用組合
☎(084)745-1128

備後信用組合
☎(084)921-6556

広島県信用組合協会

広島市中区宝町九番十号
電話(082)247-7363

わせを繰り返して、一年以上かけてベストと思われる組み合わせを導き出しました。

神辺本陣純生ロールは神辺本陣所有者から販売の許可を得ており、神辺町観光協会公認の商品として売り出されています。

下宮さんは今年一月、自家製カステラをこんがり焼き上げた、かすてらラスク（一袋百五十円）を新たに開発。神辺本陣純生ロールに続く第二弾商品として、ラインナップに追加しました。販売開始と同時に、「サクサクした食感と香ばしいパターの香り口に広がって美味」などと人気を呼んだことを追い風に、下宮さんは第三弾商品の開発にも着手。翌二月、昨年も好評を博した、和菓子の素材を使った生チョコ、和生チョコ（一箱八五〇円）をバレンタイン限定の第三弾商品として再発売。昨年の三倍の量を製造したにも関わらず、バレンタイン二日前に予約完売させるなど、新洋菓子ブランドが広く地域に浸透したことを印象づけました。

地域に愛されてきた看板をこれからも守り続けていくために、下宮さんはこれまでの努力を今後ますます加速させていきたい考えです。

●お問い合わせ

茶山饅頭総本舗谷口屋

TEL(〇八四)九六二一〇二三六

**「新Netde記帳
操作研修会」
巡回開催**

自計事業者のフォローアップを目的に、
県内延べ二十六商工会で研修会を実施

広島県商工会連合会

本県連は、インターネットを利用した会計システム「Netde 記帳」が新システムに移行するのに伴い、新機能の紹介などを中心にした「新Netde 記帳操作研修会」を昨年十一月からスタートさせました。自計事業者を対象に、新システムの基本情報や操作方法など実機を使って体験する研修会を県内各所で巡回開催するもので、昨年十一月二十七日の広島東商工会安芸支所を皮切りに、五月末までを目標に県内延べ二十六商工会で実施する計画。三月二十一日には、呉広域商工会で二十七人の受講者を集めて研修会を行いました。



Netde 記帳は、インターネットでできる中小企業経理システム。経理ソフトとして初めてインターネットを利用したASPシステムで、一般のソフトと同様に伝票入力や決算、各種申告書作成などがいつでも、どこでも、誰にでも簡単にできる経理システムです。二〇〇四年度（平成十六年度）に商工会が行う記帳機械化事業の標準システムとして採用され、運用が開始されました。

運用開始から約八年が経過し、最新の通信環境や機器類への対応と同時に、税制改正にもより迅速に対応するために新システムに移行。新Netde 記帳は従来のシステムの良い点を継承し、より使いやすく信頼性を向上させました。「システムの使いやすさはそのままに、操作性の向上を図った」と本県連の担当職員。

新Netde 記帳の操作研修会は、従来システムを利用していた自計事業者のフォローアップを主な目的にしたもの。呉広域商工会で行われた研修会では、講師が操作マニュアルをもとに、使用前準備の手順や全体構成、ログイン方法などの基本情報を説明したほか、仕訳入力の機能や仕訳の検証処理と帳簿・管理表機能などについて詳しく解説。受講者は一人一台の実機操作で新Netde 記帳の基本的な機能や使い勝手などを体験。仕訳帳や出納帳の入力用データを打ち込んだり、入力した

仕訳を検証したりしながら優れた操作性を体感し、新システムの活用や効果について理解を深めました。

本県連では、新Netde 記帳の操作研修会が一巡した後、新規利用事業者の拡大などを目的にした「新Netde 記帳体験セミナー」を県内各所で順次開催することになっています。

●お問い合わせ／Netde 記帳ヘルプデスク（自計会員専用）

TEL〇一二〇一〇〇七三三八
受付時間：平日9：00～12：00、
13：00～17：00（年末年始は除く）
「Netde 記帳」のURL（ホームページアドレス）は「<https://kicho.hunt.jp/>」

全国商工会経営者休業補償制度

病気やケガで働けない間、最長1年間月々の所得をワイドに補償します。

所得補償保険制度の魅力

1 有利な保険料	団体割引適用で、一般契約に比べ割安
2 ロングな補償	てん補期間は最長1年間（免責期間7日間）
3 ワイドにサポート	国内、海外、業務中、業務外での病気・ケガによる休業を補償
4 安心の補償	入院はもちろん、自宅療養もカバー
5 簡単手続き	加入時の医師の診査は原則不要



子どもたちが主役のグルメ大会

子どもたちが主役のグルメ大会
で、昨
年に続
いて二
回目。
今年は
「鉄板
焼きで
作る創
作めん
料理」
をテー
マに行

小学生たちが麺を使ったアイデア料理の味や出来映えを競う「C（チャイルド）級グルメ大会」が一月二十日、安芸郡坂町平成ヶ浜のパールティ・フジ坂で開かれました。船越町、海田町、坂町の小学生チーム六組が参加して鉄板焼きを使った創作麺料理対決を繰り広げ、ビックリメン玉バーガーを考案したハッピークローバー（小屋浦小学校）が最優秀賞に選ばれました。

同大会は、広島安芸商工会青年部が子どもたちの健全育成と地域コミュニティの活性化を目的に企画した、子どもたちが主役のグルメ大会

**小学生たちが
アイデア料理競う**
三町六小学校の代表チームが
参加し、小屋浦小学校チームが
最優秀賞に

広島安芸商工会

われ、船越、海田、海田東、坂、横浜、小屋浦六小学校の代表チームが約半年かけて作り上げた自慢のレシピを競いました。

同商工会青年部は昨年六月、PTAなどを通じて三町の全小学校に同大会の開催を案内し、参加者を募集。六小学校から六組のエントリーが決まった後、七月末に参加者を集めてお好み焼きの焼き方教室を兼ねた説明会を開き、「鉄板焼きを使った面白い麺レシピを開発しよう」と呼びかけました。小学生たちの取り組みをサポートしてもらおうと、同商工会青年部は三町七店舗のお好み焼き店に監修役を要請。小学生たちはプロのアドバイスを受けながら自由な発想を生かしてレシピの開発に取り組み、約半年かけてそれぞれ独自の麺レシピを開発しました。

プロ顔負けのアイデア料理が出揃いました。焼きそばと焼き飯をミックスさせた「カープそばめし」、カレー粉を練り込んだ生地ですばやウインナーを包んだ「カレーなるおこのみ」、鉄板で焼いたそば飯や豚肉、広島菜を海苔で巻いた「不思議な宝箱」など、創意工夫を凝らしたユニークな創作麺料理がお披露目され、来場者の購買意欲をくすぐりました。

同商工会青年部の木村元和部長は大会の盛況ぶりに胸をなでおろし、「今後も三町持ち回りで継続開催していきたい」と話していました。

あなたも家族もまるごと守る! 頼れる補償の 商工会の福祉共済

全国商工会会員福祉共済

商工会会員
10万人以上の方に
ご利用いただいで
います



トータル
「がん」補償

「けが」の
補償

「病気」の
補償*



シンプル「がん」補償がスタートしました!

お申込みはご加入の商工会まで

*「病気」の補償は「けが」の補償に加入されている方のみがお申込みいただけます。



中小企業・事業主の皆さまへ

事業経営の
頼れるパートナー!!
まずはお近くの〈ひろぎん〉に
ご相談下さい。



真っ先にご相談いただける
「ファースト・コール・バンク」を目指します。

〈ひろぎん〉のホームページ <http://www.hirogin.co.jp/>

広島銀行

もっと、

みじかに!!

じもとの銀行 もみじです。
[地元]

[もみじ銀行は、豊かな地域社会づくりに貢献します]



もみじ銀行

<http://www.momijibank.co.jp/>